

草津市立玉川小学校 学校だより

令和5年3月23日

第11号

玉川小学校長 住吉 厚志

4つのき

〒525-0059 草津市野路9丁目6番12号 TEL563-1271 FAX 563-1306

令和4年度玉川小学校第46回卒業証書授与式

去る3月17日（金）本校体育館において令和4年度玉川小学校第46回卒業証書授与式が行われ、卒業生98名全員が無事卒業証書を受け取りました。当日は曇り空ではありましたが、春の気配が感じられる暖かい一日となりました。草津市教育委員会よりご来賓をお招きし、多くの保護者の方に参列いただいたの厳粛な式となりました。6年間の思い出を胸に卒業した6年生の前途に幸あらんことをお祈りいたします。



学校長式辞

校庭の桜のつぼみも膨らみ始め、春の訪れを感じる季節となりました。本日ここに、草津市教育委員会教育委員我孫子智美様をはじめ、保護者の皆様のご臨席を賜り、草津市立玉川小学校第四十六回卒業証書授与式ができますことを、高段からではございますが、厚く御礼申しあげます。ありがとうございます。

卒業生のみなさん、卒業おめでとうでございます。今、卒業生98名一人ひとりの輝く瞳を見ながら、栄えある卒業証書を渡させていただきました。この卒業証書は、今日この日まで、たくさんのつらいことやしんどいことを一つ一つ乗り越えてきたみなさんのがんばりを称える証明書です。どうか一生大切に保管をしてください。新1年生として入学してきた日のことを覚えていますか。真新しいランリュックを背負い、上級生のお兄さん、お姉さんに手を引かれて登校した日のことを。それから6年間。雨の日も風の日も学校に通い続けました。後半の3年間はコロナ禍により様々な我慢を強いられるなか、自分たちができることに精一杯チャレンジし、心も体も大きく成長しました。特に最後の一年間のみなさんの活躍は目を見張るものがありました。最上級生として毎日の分団登校を支え、玉川っこ集会や委員会活動、フレンズデーでは常に学校をリードしてくれました。中でも私がとても印象に残っていることは、運動会でのみなさんのフラッグ演技です。頭の前から足の先まで神経の行き届いた機敏な動き。それに合わせて翻る青と黄色の旗。振り上げた旗が風を切る音。それらはとても力強く、美しい光景でした。世界中に戦争の悲しいニュースが流れる中、目標に向かって力を合わせて演じるみなさんの姿は、平和で明るい未来を多くの人に想像させてくれました。本当に感動をありがとう。

さて、先日発行された本校PTAだより「みらい」の3月号には、6年生のみなさん一人ひとりの「夢」が書かれていました。そこには、将来就きたい職業を書いている人、自分が理想とする人物像を書いている人など様々でしたが、98人全員が素晴らしい夢をちゃんと持っていることに関心をしました。年齢とともに「夢」そのものが変化をすることはあるかもしれませんが、しかし、まずはどんな自分になりたいかという「夢」をしっかり持つことが大切だと思います。夢を実現するために必要なことは何でしょう。今、大活躍をしているメジャーリーガーの大谷翔平選手。彼の代名詞と言えば「二刀流」、つまりピッチャーとバッターの両方を一人でするプレイヤーとして有名になりました。しかし、当初はこの「二刀流」は漫画の世界でのことであり、現実的ではないとして誰もが実現不可能と考えていました。大谷選手はそのことを振り返って、『「二刀流」は不可能だと言った人の数は数えきれない。しかし、「二刀流」ができないと自分が思ったことはただの一度もない。』と話されています。この言葉からも夢を実現するために最も大切なことは、自分は絶対に「夢」を実現できると信じ続けることではないでしょうか。卒業生のみなさんも、どうか夢を叶えるために自分を信じ、夢の叶うその日まであきらめずに努力し続けてください。いよいよ4月からは中学生です。自分の頭で考え、自分の行動に責任を持って学校生活を送って欲しいと思います。そうすることで、自分を知り、自分の未来像を描き、その実現において大きく前進する中学生時代になることでしょう。そして、だれにでも優しく、誠実に人と接することができる素敵なおとなへと成長していってくれることを期待しています。

最後になりましたが、保護者の皆さまに一言お祝いとお礼を申しあげます。本日はお子様のご卒業、本当におめでとうでございます。こうして、愛情を込め育ててこられたお子さまが立派に小学校を卒業されますことを、職員を代表して心からお祝い申しあげます。この6年間、お子さまの成長を願い、教職員が一丸となって教育活動に取り組んでまいりました。しかし、何分行き届かない点も多く、保護者の皆さまにはご心配とご迷惑をおかけしたことも多々あったことと思います。しかし、今日の日のお子さまの成長した姿をお見せすることができるのが、私たち教職員の何よりの喜びであります。これから思春期真ただ中に入るお子さまです。今までとは違った悩みや壁に突き当たることと思います。そんな時こそ、親子の会話を大切にさせていただき、人生の先輩として励まし、寄り添っていただきますようお願い申しあげます。名残は尽きませんが、卒業生のみなさんの輝ける未来に幸多からんことをお祈りし、式辞といたします。